「平和をみつめてみよう」キャンペーン　応募要項

“Opinion” “Reportage” “Photograph” の応募要項はつぎの通りです。
奮ってご参加ください。力作をお待ちしております。

【応募資格】
京大および医短の学生・院生。

【締切り日】
’82年9月25日(土)

【宛て先】
京大生協本部または組織部員にお渡しください。
※応募作品には、氏名・住所・TEL・学部・回生を記入してください。

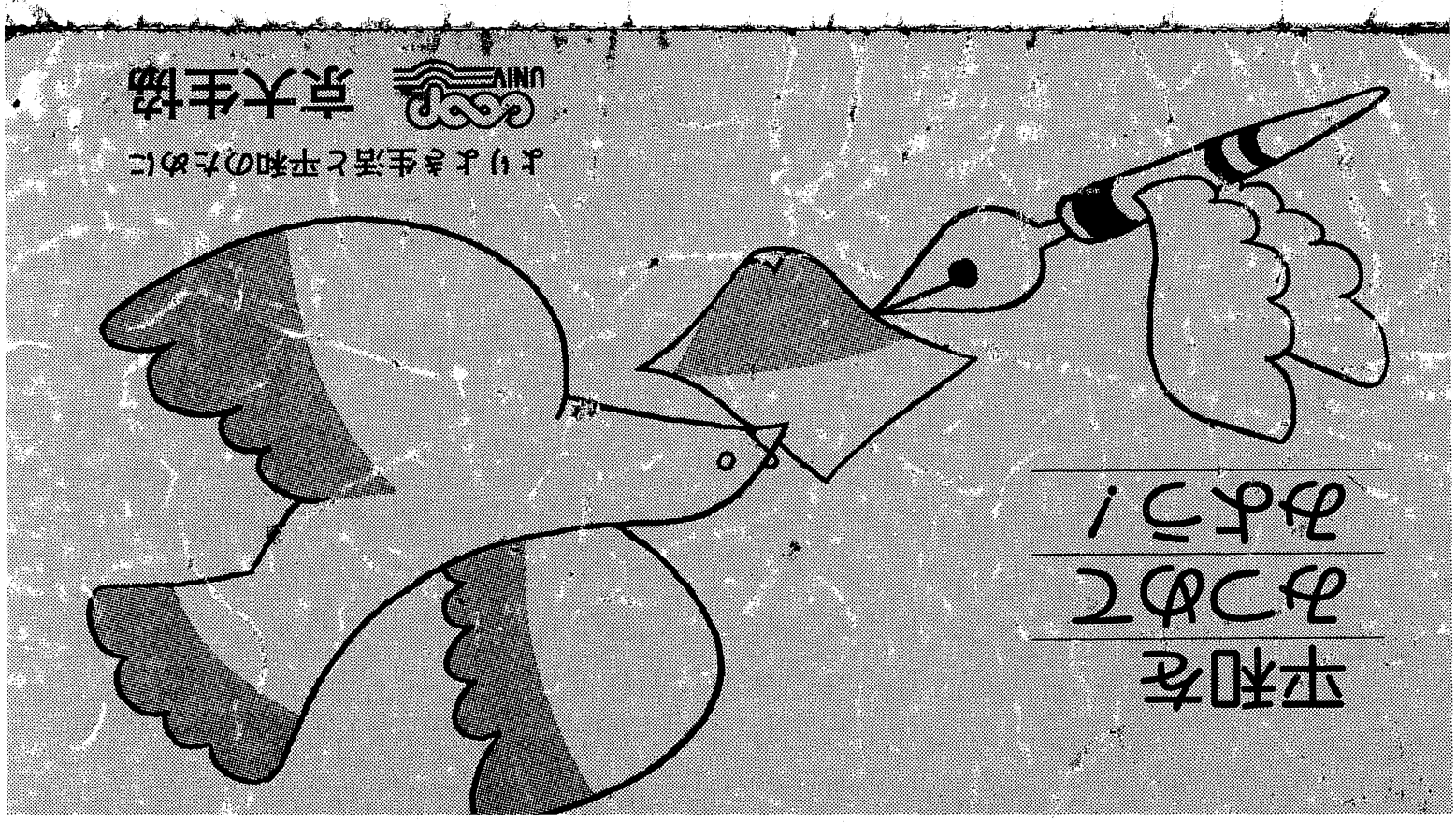
キャンペーンについてのお問合せ等は、本部構内正門横の生協本部またはTEL内線7646・直通 761－0047までどうぞ。

【審査と発表】
「京大生協平和のための委員会」による審査のうえ、各部門の最優秀作品を機関紙「News Co-op」と「協同」に発表。その他入選作品は、別に編集し発表いたします。

【賞　品】
- 応募者全員に図書券(1,000円分）を進呈。
- 最優秀作品および入選作品には、記念品を贈呈します。

※なお、応募作品はお返しできません。

京都大学生活協同組合



見えるか 未来 描けるか 平和

平和をみつめてみよう

今、ぼくらは平和なニッポンに生きている。目の前にあるものはスポーツ・サウンド・ファッション・恋人・そして勉強。たしかに今は平和だ。

でも、それらをじっと見つめてみよう。平和のスキマから何かがみえる。君の眼はきっととらえるはずだ。

君の眼がとらえた平和をレポートしてほしい！

作品大募集！

◆応募要項はウラをごらんください。

1 Opinion

○あなたの主張・論説・書評・随想など。
○400字詰原稿用紙　10～15枚
（4,000～6,000字以内）

2 Reportage

○「父母が語る戦争」「わが町の戦争」などのルポルタージュ。
○原稿用紙　10～15枚（4,000～6,000字）

3 Photograph

○平和・戦争をテーマにした写真。
○E判（サービスサイズ）以上のモノクロプリント。
○1～3枚組。

このキャンペーンに 賛同します

SSDII要請の京大代表
田中 貞美（2T）

ニューヨークでの集会やデモは多くの若者が参加しました。彼らは「次代は僕らが担うんだ。僕らこそ平和をもっと考えねばならない」という意識をもっています。

今平和を求める声が高まっていますが、私たち若者は運動の中心で頑張らねばなりません。今回のキャンペーンに多くの方が参加され、運動の輪がさらに広がることを期待します。

全国大学生協連関西地連学生委員長
若林 靖永

「核兵器はおろか銃一丁の削減すらついに実現せず」に第2回国連軍縮特別総会は閉会しました。そして結局のところ、NGOによる広範な草の根の市民運動が大きく高揚し、それが未来への希望をつないだといえます。とりわけ、私たち青年が、自分自身の人間としての生き方に根ざした反核のとりくみを持続してゆくことが必要です。私たち青年の〝心〟のアッピールを!!